

## 大池中学校区学校適正配置検討会議（第9回）

1 日 時 令和3年9月2日（木） 午後6時30分から

2 場 所 大阪市立大池中学校 体育館

3 出席者

（委員）

足立 須香委員、上堀内 佳朗委員、川瀬 邦彦委員、小谷 忠司委員、  
菱田 享宏委員、藤原 智代委員、古田 邦一委員、安田 宣哲委員、  
山室 嘉子委員

（オブザーバー）

高藤 信子様、福山 江梨子様

（学校）

上田 健二（大池中学校長）、高尾 祐彦（大池小学校長）、庄司 量士（舍利寺小学校長）

（教育委員会事務局）

山口 照美（生野区長兼生野区担当教育次長）、櫻井 大輔（生野区副区長兼生野区教育担当部長）、花月 良祐（教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）、樋口 義雄（総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長）、大川 博史（生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）、三宅 俊之（総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理）、川楠 政宏（生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課生野区教育担当課長代理）、竹口 一吉（学事課担当係長）、竹中 一郎（生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長）、白石 秀一（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）、渡辺 久志（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）

（傍聴） 1名

4 議題

- （1）小中一貫校の通称について
- （2）通学路の安全対策について
- （3）その他

## 5 議事要旨

### 【検討会議委員の交代について及びオブザーバーについて】

#### (1) 行政からの説明

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・議事を始める前に委員の交代がございましたので、御報告をいたします。資料のほう、1枚目に委員名簿をつけております。舍利寺小学校区の太刀野功一様に代わられまして、小谷忠司様に今日から入っていただきます。どうぞよろしく願いいたします。
- ・また、本日は小中一貫校の通称案について意見交換をいたしますので、大池中学校PTAの高藤様、福山様に出席をいただいております。どうぞよろしく願いいたします。それでは早速議事に入らせていただきます。

### 【小中一貫校の通称について】

#### (1) 行政からの説明

(説明者：竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・小中一貫校の通称について説明させていただきます。資料をめくっていただきまして、右肩に議事資料というものを御覧ください。大池中学校区小中一貫校の通称についてというものです。小中一貫校の通称につきまして、7月9日から8月6日の間、生野区在住の方を対象に通称案を募集いたしました。応募のほう、5件ございまして、資料の2番、通称案の表の1番と5番、7番、8番、9番が応募のものになります。2番、3番、4番、6番は前回お示ししました行政案というふうになります。裏面を御覧ください。本日は、今後、児童生徒アンケートを行うために、9案ございまして少し多いと思いますので、半分ぐらいまで選定していきたいと考えますけれどもいかがでしょうか。良いと思う方、挙手のほうをお願いしてもよろしいでしょうか。

#### <各委員、挙手>

- ・どうもありがとうございます。それではこれから選定のほう、やっていきたいと思えます。候補選定の方法につきまして、それでは御意見を頂戴したいと思いますけれども、委員の皆様いかがでしょうか。この9つのところからどうやって選んでいくかということなんですけれども。何か意見ございましたらよろしく願いします。

#### (2) 主なご意見等

(委員)

- ・失礼します。前に決めたときに、どっかの1校だけの名前を入れるのはもうやめておこうっていうルールがあったと思うので、そういう意味でいうと。理由はね、いいと思うんですけど、「舍利寺」、7番と8番については外してもいいん違うかなっていうふうに

私は思います。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・ありがとうございます。委員おっしゃいますように、前回ですね、校名の候補選定の際にはもと小学校を連想する校名案や吸収合併を思わせる校名案は削除するという考えのもとで候補選定が行われましたので、今回もそのように。ここでいいます7番と8番につきましては、そこに当てはまると思いますので削除ということでもよろしいでしょうか、皆様。取りあえず7番と8番はそれでは削除というところでいきたいというふうに思います。そのほか御意見がございましたら、よろしくお願いします。

(オブザーバー)

- ・失礼します。私が思うにはですね、皆さんいろいろな名前に込めた思いっていうのが書かれてるんですけども、やはり聞いたときに説明が要る名前っていうよりは、あその学校だかっていうのがすぐに分かるほうがいいと思うので、やっぱり大池っていう名前が入ってるシンプルなほうがいいのではないかと思います。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・はい、ありがとうございます。他、いかがでしょうか。御意見ございませんでしょうか。今でしたら7案のところでのアンケートということになってしまうんですが、申し訳ございません。今、いただきました意見、大池という名前入るということでもございましたら、今でいう2番、大池小中一貫校、3番、おおいけ小中一貫校、6番、小中一貫校大池学園、9番、プラウド大池小中一貫校の4つというふうになりますけども、この大池ついた分だけでアンケートのほう、入るということにつきましてはいかがでしょうか。よろしいですか。

(委員)

- ・異議ございません。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・今、挙げた分以外にこれは候補に挙げといたほうがいいというもの、あれば言っていたきたいと思います。よろしいですか。今のその大池ついた名前の分でアンケートのほう、入るということでもよろしければ、すいません、挙手をお願いします。皆さんよろしいですか。

(委員)

- ・すいません。8番のね、小中一貫校御幸森の学び舎のところ、おおいけの学び舎とかに変えるってことは出来るんですかね。8番のね、代案みたいな感じやけれど。学び舎っていう言葉を使いたいなあと私は思うんですけどね。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当)

係長)

- ・今、委員から御意見のございました、新案ということで、8番の小中一貫校御幸森の学び舎というものの御幸森を大池ということで、小中一貫校おおいけの学び舎という名前という御提案ございましたけども、こちらを追加することにつきましてはいかがでしょうか。もう一度繰り返しになりますけども、2番大池小中一貫校、3番大池小中一貫校、6番小中一貫校大池学園、9番プラウド大池小中一貫校で、小中一貫校大池の学び舎ということで5つの候補でアンケートを取るところでよろしいという方、挙手のほう、すみません。よろしくお願ひします。反対意見あれば。

(委員)

- ・いや、8番、学び舎って、応募してきたんでしょ。8番は公募なんでしょ。応募してきたやつでしょ。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・はい。

(委員)

- ・それを名前変えて、放り込んでもいいのかなって。別にいいんですよ。ただ、みんなでも選んでもろたらええねんけど、そういう風に進めてもいいのかなと。それがそういうんやったら言うてくれはったら、皆さんの意見通るんやけど、応募してきたものを勝手に名前変えてみたいなことになっていいのかなと。それだけのことです。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・応募をさせていただいた分と、あと前回お示しさせていただいた案4件と合わせましてやったんですけども、この検討会議の場で決めていくというところなので、皆様がよければこの先ほどの変更案もですね、上げていけばどうかというふうに思うんですけども。

(委員)

- ・10番として、小中一貫校おおいけの学び舎っていうて入れたらどうですか。

(委員)

- ・変えるのがいかんのかなって思っただけやけどね。

(委員)

- ・ほかに意見ありませんかって、今、新たにこの8番を変えるというのではなく、8番を見て、委員の方が閃いて、新しく1個付け加えるということであれば、その8番を考えてくださった方の思いはそのままここで生かされると思います。ただし、さっき言うてたルールで今日の会議からは外れましたっていうふうに記録として残してもらえば問題ないんちゃうかなと思います。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当)

係長)

- どうもありがとうございます。それでは新たな提案として、小中一貫校おおいけの学び舎ということで御提案があったというところで、そちらも候補に上げていくということで皆様よろしいでしょうか。御意見なければ、先ほど申しました、繰り返しになりますけども、2番、大池小中一貫校、3番、おおいけ小中一貫校、6番、小中一貫校大池学園、9番、プラウド大池小中一貫校、で新案としまして、10番、小中一貫校おおいけの学び舎ということで5件をですね。児童生徒に対してアンケートをやっていきたいと思います。
- アンケートの用紙の案ですね、それをめくっていただきましたらつけておるんですけども、このような形でアンケートのほう、児童生徒に対して取っていきたいというふうに思っております。裏面は、通称というのはちょっと分かりにくいということで、「通称とは」ということで書かせてもらっております。これにつきましても、このような形でアンケートを取るということでよろしいでしょうか。
- あと、先ほどの資料には、通称案と通称とした理由っていうのを書かれてたと思うんですけども、アンケートを児童とか小学生とか中学生に取る際にですね。この理由のほう、今、枠を作ってるんですけども、理由、難しいところもあるんで、理由が必要かどうかというところ、ちょっと悩んでおります。一定、理由があったほうが選びやすいというところもあるかもしれませんが、この理由につきまして、枠を設けたほうがいいのかっていうところにつきましてはいかがでしょうか。御意見頂戴したいと思います。

(委員)

- あったほうがいいと思います。子どもにもし聞かれたときに、これを基に。子どもがこれを見て直接分かるかと言われたらはっきりいって分からないとは思うんですけども、子どもに聞かれたときに親が説明するときの資料としてあったらありがたいかなとは思っています。私は。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ほかに意見ございませんでしょうか。理由を入れていくということで皆様よろしいでしょうか。理由も含めてアンケートやっていききたいと思いますので、また校長先生すいません、またアンケートのほう、準備整い次第持っていきたいと思っておりますので、どうぞ御協力のほう、よろしく願いいたします。

(委員)

- すいません。理由書くのはいいと思うんですけど、全部理由を書けとかやなく、自分が一番いいと思った理由を書くか、もしくは低学年、この枠に書くのは非常に厳しいと思うので、書けなかったら書けないで書ける人は書きますぐらいな感じでもありかなっていうふうに。理由はあったほうがいいと思うんですよ、私は。だけど、下ろしはるときに、結局決めるのはこっちだから、数で。だから、理由はあったほうがいいなって思

うんだけど。そこに、下ろしはるときに書けなくてもそれはいいんちゃうかなっていうふうに思っています。これはうちの会長からちらっと言われたんですけど、こういうときって、通称っていう名前でこういうこの名前のことを通称っていうふうに呼ぶんですよね。一般的に。なんかほかに、なんて言うかな、なんかないかなっていう、言葉を。いや、私もこの前、気づかなかったんですけど。なんか良い言い方ってないんかなって思ったんですけど。いいです。すいません、はい。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・ すいません、ありがとうございます。ここ、このアンケート用紙に書いてます。項目に入れてます。理由欄なんですけども、ここはすいません、ちょっと私の聞き取り間違いだったらあれなんですけども、子どもがこれを選んだ理由という意味ではなくて、この名前を応募した、この名前を考えた理由という意味。

(委員)

- ・ すいません、私の勘違いですね。ごめんなさい。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・ それとあと、通称という言い方してる分につきましては、確かに実は通称ってなんなのっていう御意見もあるかと思えます。ここで通称と書かしていただいているのは、小中一貫校、通称は教育委員会規則で定められるということになるんですけども、規則の中で通称という表現に確かなってはいはずなので通称という表現をしていますけども、このアンケートの用紙につきましては、例えば「新しい小中一貫校の名前」とか、そういった表現。工夫さしていただきたいと思えます。このアンケート案につきましても、今のそれぞれ5つ入れて、理由も入れたものを一度、この本日参加いただいている、御欠席の方も含めて委員の皆さんには一度事前に御覧いただいた上でアンケート実施という形で進めさせていただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・ すいません、それではアンケートのほう、整い次第、またメール等で送らせていただきまして、御確認をしていただきたいと思えます。また、それでアンケートをやりましてですね。集計の上、次回の検討会議で通称を決めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

## 【通学路の安全対策について】

### (1) 行政からの報告

(説明者：三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・ 教育委員会事務局の学校適正配置担当課長代理兼生野区役所の地域活性化担当課長代理の三宅と申します。どうぞよろしく願いいたします。それでは、通学経路及び安全

対策について御説明をさせていただきます。

- お手元にご覧いただけます。まず通学経路及び安全対策と書かれた地図を御覧ください。前回の検討会議の中で報告いたしました舍利寺小学校区の対応、対策につきましての内容をこの全体版に落とし込みまして、今年度の対策実施する箇所については赤色のラインで示してありまして、その対策内容を吹き出しにして緑色のマーカーをしてるような状態にしております。それから、次のページですね。安全対策の一覧を見ていただけますでしょうか。
- こちらにつきましては、左側から状況、それに対する対策、そして今回、一番右端ですね。その実施状況ということでちょっと見やすくしたつもりにしております。基本的にはですね、今年度実施予定の安全対策の内容につきましては、色塗りをしてる部分でJからVでNを除いたものが対象ということになります。外側線とかですね、グリーンラインの塗装及び横断歩道、止まれ標示、停止線の塗装が主なものになります。塗装に関しましては、基本的に令和3年度中の実施ということになります。また、グリーンラインや交差点のニート舗装につきましては、他の中学校区で、それらを設置する効果について御質問がありましたので、設置を担当して大阪市の建設局に見解を聞いてみました。次のページを見ていただけますでしょうか。
- 平成24年に京都府の亀岡市をはじめ、全国で登校中の児童を巻き込む事故が発生したことから、全小学校の通学路を対象に道路管理者である建設局、交通管理者である警察、学校関係者及び区役所が連携し、緊急合同点検を行い、建設局として交差点や路側帯のカラー化など交通安全対策を実施し、以降も継続的な取り組みとして交通安全対策を続けていると。特にグリーンラインについては、歩道のない幅員の狭い道路において、道路の端に設けた歩行者が通行する空間である路側帯の白線に沿って全国的に通学路を示す色である緑色に着色することで、ここが通学路であるということを示すとともに、ドライバーに歩行空間の存在を認識させ、注意を喚起し、通行速度の抑制を図る施策であるというふうに考えているとのことでした。また、表のほうになっております部分なんですけど、グリーンラインとか交差点のカラー舗装などの効果検証をしている全国の事例を調べまして掲載しております。それによりますと、地域によって差はあったりするんですが、平均速度などが下がるなど概ね効果があるというふうに見受けられると思います。
- 続きまして、今回QとSのところなんですけど、地図上でいいますと大池小学校の南西、西側の道路の若干南側にQがございます。それから、大池中学校の北側のところにSがございます。この箇所については信号機の設置について要望いただいていたんですが、警察の交通量調査が結果が出ましてですね、1時間当たりの通行台数が信号機設置基準の300台に対しまして100台に満たない台数の通行しかなかったということがございます。
- Qにつきましては、現在、交差点東側に横断歩道が設置されておりまして、停止線もご

ざいます。また、南側には停止線と止まれ標示がされております。また、東側には横断歩道ありを示します。ひし形のマークが設置されておまして、交差点には交差点を示す十字マークも設置されておりますので、新たな対策としての信号機設置につきましては設置基準にも満たないということもありまして見送りたいということで警察から返事をいただいております。また、Sの箇所につきましては、現在交差点北側に停止線と止まれ標示がされておまして、交差点につきましてはニート舗装と交差点十字マークがついております。また、交差点の南側にはスクールゾーンの標示がされておりますので、新たな対策としての信号、横断歩道、停止線等の設置につきましては設置基準に満たないことありまして見送りたいということでございます。なお、Qの部分はずね、現在大池小学校西側の南北道路になりますんですが、今も大池小学校の通学路になっているところですよ。

- ・また、Vの部分なんですけど今里筋です。前回の検討会議で、Vの部分で自転車の啓発を行うのであれば、U、中川西3丁目の左側のところですよ、Uの部分の川沿いを通るのではなくて、今里筋まで東に行ってから北に登るルートとしてはどうかという意見がございました。校長先生と調整しましたが、今も通学路として使っておりますし、今後も通学路として使用するので、ルート変更自体はしない方向としたいということですよ。ただ、舎利寺小学校統合後の状況に応じて、必要な場合についてはまた再度検討するという御意見いただいております。
- ・それから今年度、前回にも入札が不落になったということもありましたんですけど、今年度の工営所で実施していただく通学路の安全対策に含まれる管内工事の入札なんですけど、8月26日に建設局で行われたようですよ、結果落札されたということですよ。落札業者の審査とかスケジュール調整、資材調達などの事前準備を経まして、10月以降に工事に入っていただくことになると思われます。ただ、詳細の建設局と業者さんとの打ち合わせが、まだされておきませんので、いつからどの場所で工事が始まるかについては、まだちょっと分からない状況なんですけど、詳細が分かり次第またお知らせしたいと思います。なお、工営所にはずね、大池小学校区はもう既に開校済みの学校でありますので、その安全対策ということですよ、優先的に実施していただくようお願いしておりますのでよろしくお願ひします。今後も児童の通学路の安全対策の向上に努めてまいりたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(大池小学校西側の南北道路周辺の現在の通学路の状況について)

(説明者：高尾大池小学校長)

- ・失礼します。QそれからSの箇所の近辺、主に大池小学校の南側の辺りというのは非常に家屋がたくさん密集して、路地も非常に狭い間隔でたくさんあつて、交差点が当然たくさんある箇所になります。子どもたちもたくさんこの地域から通つてきてるので、見守りの地域の方がほんとにこの辺りを中心にたくさん朝立っていただひて、見守りをしていただひてる箇所でもあります。特に大きな道路の交わるのところとか、それ

から子どもがたくさん渡るところを中心に立っていただいているような現状がありますので、その辺、信号機がもし設置されなかった場合にはその辺の事情を地域の方にもちょっとお願いして、今も本当にそういう要望をたくさん聞き入れていただいて立っていただいているような状況ですので、今後もそういう形で子どもたちの安全を確保していけたらなというふうに思っています。以上です。

## (2) 主なご質問等

- ・通学路の安全対策につきまして、御質問ございますでしょうか。

(委員)

- ・緊急合同点検を行ったのが24年ですかね、に行ったんですよね。あんまりこういうのを引っ張り出すのもちょっとあれかもしれないんですけど、こないだ千葉県のほうでトラックで通学路のほう、突っ込んで児童が亡くなったっていう事故ありましたが、そのときに多分、政府からも、また合同点検っていうんですかね、緊急合同点検を実施しますっていうふうになったとは思いますが、それは重ねてされたんですかね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね、教育委員会の指導部から各小学校に対して、再度点検の上で状況を報告するというような取組みは行われております。

(委員)

- ・それをした、実地した後のこのなんていうんですかね、信号機つけられへんとかいう話ってことですかね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・信号機も警察の方と直接今やり取りをしております、当然そういう状況も踏まえての御回答やとは思いますが、警察からはこの場所では、やっぱり設置できないというお答えをいただいています。

(委員)

- ・これは、僕結構通学路、言わしてもらってるんですけど、やっぱり警察とかってその日、1日2日とか調べるときにだけしか多分いないと思うんですよね。やっぱり地域の方、毎日通る方とか、これ危険やなって感じてる方の意見をちょっと個人的にはないがしろにされてるんじゃないかなとちょっと僕は個人的に思います。なので、もう一回地域の方の意見も聞きながら考えてもらったほうがいいかなって僕は思いますけど。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・その辺は御意見いただいて、それを警察の方にお伝えするという事はいたします。

(委員)

・すいません、よろしいです。未来学園のほうでこういう話があったときに、前回警察の方、来られてますよね。大池さんのときは来られてないんですかね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・御要望をいただきましたら警察の方にまたお話しいたしまして、出席要請いたしますが。

(委員)

・今までそういう機会ってなかったんですか。来てくださってのはなかったんです？

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・そうですね、はい。

(委員)

・じゃあ、ぜひ呼んでもらうべきだと思いますけどね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・警察の方とお話しさせてもらって。

(委員)

・いや、もう学校始まっているんですよ。こんな早急にせんとあかん話違います。これ未来学園と一緒にパターンですよ。警察の方ができませんって言うのであれば、何か代替え案を出してもらおうとかっていう話を持っていかないと駄目でしょ。そういう話されてるんですかね、大池さんのほうでは。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・代替え案という話もしておりますが、ここ、いま今回の対象道路については、先ほども説明いたしましたように。

(委員)

・いやでもね、保護者の方が不安に思ってるからこういう意見が出てるんですよ。違いますかね。今ないがしろにされてる、気持ちがないがしろにされてるっていうふうにおっしゃってたと思うんですけど、まさにそれやと思うんです。自分のお子さんがそこを歩くっていうイメージをされてます？そういうイメージされてお話をされてます？

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・イメージはさしてもらってますが、対策、いろいろ内容等あるかと思うんですけど、当該の道路についてはいろいろ路面標示等いろいろされておりますのでね。なかなかこう、これ以上やる内容があまりないような。

(委員)

- ・じゃあ、保護者の方が納得できる説明をしないとイケないですよ、今度。警察の方がこうやっておっしゃってましたで終わりですか。そんなんで我々納得できます？ 通学路って一番大事ですよ。これほかでも言うてますけど。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・御意見としては承りまして、警察の方にもお伝えしながらですね。次回の検討会議で出席いただくような要請をしていきたいと思います、はい。

(委員)

- ・ぜひお願いします。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・そのほか御意見ございませんでしょうか。

(委員)

- ・すいません。普段ってというか普通の横断歩道がはげてんのか、この川沿いの白い線の話は前回もさしてもらったんですけど、それについてはどのような対応をしていたか、このAって書いてるところの陸橋降りてきたところの、はげたままですよ。一歩入ったら緑の線があって、大池小学校まで引いてあるけど、降りてきたその。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・すいません、前回御指摘していただいたやつは、警察の方にはお伝えして、やっていただけということになっています。

(委員)

- ・それもいつ。さっきの話じゃないですけど、いつとか、もう学校始まって毎日子どもら歩いてるわけだから、優先順位先に回してもらおうとかいうのを再度お願いしたい。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・はい、分かりました。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・そのほか御質問ございませんでしょうか。

(委員)

- ・すいません。これのね、令和3年度整備予定の通学路。ピンクのところですかね。全て。今言うてるUとか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね、はい。

(委員)

- ・こういうところはみんなグリーンベルトにするということなんですか。  
(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)
- ・グリーンベルト塗るとこと外側線を引くところとございます。

(委員)

- ・できたら全部グリーンベルトにしてほしいぐらいやけれど、今さっきの安全上グリーンベルトのほうがいいわけでしょ。  
(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)
- ・かなりの割合でグリーンラインっていうのは入れる予定にはなっておりますんで、はい。

(委員)

- ・単純なことなんですけれどね。やってくれたらありがたいなということです。  
(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)
- ・すいません、そのほか御質問ございませんでしょうか。  
(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)
- ・すいません、失礼します。今の通学路の件なんですけども、確かに今日お配りしてる資料だけでいきますと、何かをやらうとするときにどういった基準があるかというの。確か前回、例えば信号設置の場合は1時間の車両通行量が300台以上ないといけないとか、そういった基準とかいろいろあったかと思えます。そういったのをまた改めてまとめて、どういったことをやる場合にはどういった基準があるのか、制限があるのかというの整理して、またお配りしたいと思えますのでよろしくお願いします。

## 【その他】

### (1) 行政からの説明

(IKUNO 未来教育ネットワークについて)

(説明者：大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・私からすいません、1点御報告がありまして、資料をカラー刷りでお配りしてるのがあります。これ、委員から、こういう取り組みやってるのをちゃんと紹介したほうがいいんじゃないかという助言をいただきまして、今日お配りさしていただいています。もともと平成30年から生野区役所のほうで学校に対して何かできないかということで、学校のほう、出前授業とか研修とかで、キャリア教育ですとかせい教育、せいも2つの漢字がありまして、りっしんべんと生きるほう両方あるんですけども、そういったサポートす

るために、生きるチカラまなびサポート事業という取り組みをこれまで進めてまいりました。今回、学校再編も含めていろいろとその教育関係を良くしていこうということで、新たに IKUNO 未来教育ネットワークと、いうものをこれまでもそういった生きるチカラまなびサポート事業というのを少し、少しといいますか更に発展させて、学校と地域で、まあ産官学地域連携ということで、学校地域で産業、企業ですね。そういった連携して、いい取り組みができないかということで、今年度、ネットワークというのを立ち上げたところです。

- 資料の方、細かくはもう説明、ちょっと時間もありますので説明は割愛させていただきますけども、例えば、一枚資料一枚めくっていただきますと、裏、一枚目の裏面のステップワンというところ、ございます。これあの、カラー印刷薄くなってて申し訳ないんですけども、左の方、下の段の左上にあります、区内外の企業民間団体による学校支援メニューや講座の提供、ということで書かしていただいています。ここが産。産業の産です。その下区役所もしくは教育委員会、ここが官ということで、その下が大阪教育大学との連携ですとかそういったのが学、また区内の高校とかそういった所にもちょっと協力をお願いをしていってる所なんですけども、あと、また地域の協力もいただいて、学校みんな、町ぐるみでやっていこうというイメージで取り組んでいっております。そしたらどういったことをイメージしてるのかというのが二枚目の裏面、一番最後ですけども、こちらはまだ想定ということにはなっております。ただ想定の中でも左上のキャリア教育支援という部分。例えばプロによる出前授業ですとか、これについてはもうすでに今、取り組んでるところです。あと例えば工場会社の方協力いただけるところの社会見学の受け入れですとか職業体験の受け入れ。そういったものからいろいろと、今後やっていきたいということを書かしていただいています。例えばその下書いてます部活動支援、課外活動支援学校サポート。こういった取り組みを今年度から生野区の方で始めてますので、今日は、ご紹介ということでさせていただきました。これもまた、区役所の方、ホームページの方でこういったのも紹介させていただいてますので、もしお時間がありましたらご覧いただけたらと思いますのでよろしく願いいたします。

## (2) 主なご意見等

(委員)

- すいません。今のお話はちょっと、IKUNO 未来教育プロジェクト、素晴らしい中身やと思うし、どんどん進めていったらいいなということなんですけども、そもそもその、ずっとこの再編会議のなかで何を話してきたかっていったら、やっぱり子ども達のその再編統合後のやっぱり教育支援を地域としてどうやってできるかなってということも含めて、もちろん安全面のことは当然のことではありますけども、地域として何ができるかなっていう風にこうずっと、思い続けているので参加させてもらってきてるんですけども、そういう意味で言うとその未来教育ネットワークの設立のところでは

り地域が果たす役割っていうのはすごく大きくて、御幸森もそろそろ跡地の運営会社とかも決まって、いよいよ御幸森小学校の跡地も徹するっていう風に聞いています。となると今ここで、こういうことではなくてこれをなんか立ち上げられた段階で、もっともっと早い段階で、こういうことをやっていきたいし、逆に言うと地域で何ができるのかって投げかけてもらうようなことはできなかったのかと、というのは、まあ私は御幸森のことしか知りませんが、御幸森小学校では地域と色々な学びの積み上げもあって、中川は中川であって、舍利寺は舍利寺であって、もちろん大池でもあったと思うんだけど、それを基礎とした中でこういうのをやっていくと、すごくいいんちがうかなと、今さらながらのスタートではなくて、既に積み上げたものでこれをやっていくのがいいんじゃないかなって思うんだけど、今これ聞くと、え、こんなあったんやっというのと、いったい何かしたらいいんかっていうのを整理についてもこういうことをもっと最初の立ち上げの段階から地域の方におろしてもらったら、もっと協力できたし、ただ、その本当になんか、洋服決めて、名前決めて、やって、それでこの会議が終わりっていうような中身にはしたくないので、やっぱりなんか、何ができるのかなっていう風なところで言うと、もっと早くこの、これはまあ今回なんか先生方が対象やったって聞いてるんですけども、こういう事をやるんだっていうことについては、逆にコンセプトの問題で言うと、ステップ3は前からずっと、再編統合の時からみんなの学校構想っていうのをずっとおっしゃってきてるけども、やっぱり全てここに立ち返ってこの再編会議とかやっていかなあかんの違うかなって、思ってるところです。だからやっぱり何ができるかっていうところはここが、問題でこういう学校にしていくなために、じゃあどうすんねんっていうその核の部分かね、抜け落ちてきてるん違うかなと、思ってたところ、たまたま見つけて、もっとはよ言ってくれたらよかったのになという風に思ったのでちょっとお願いしました。今後こういういろんな様々なすごい中身をやらされる時には、出来上がったものではなくて構想の段階でも教えていただけたら、それぞれでまた何ができるのかなって考えていきたいなという風に思います。

- もう一点はアンケートについては、保護者の方からも、申し入れしてるって聞いてるんですけども再編統合した後になんか一応、保護者アンケートとるっていう風には聞いてるんですけどその件については、今日お話し頂けるって聞いてたんですけど、いかがですか。

(花月教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- 教育委員会の花月です。アンケートにつきまして、これまで学校統廃合しました学校におきまして、統合後、約半年経過した後、アンケートを実施させて頂いております。今、お話があったアンケートについてはそのようなことかと思いますが、例年と異なりますか、これまで統廃合のあった学校につきましてはアンケートを実施しておりますので、皆さんアンケートの際にはご協力いただきたいと思います。以上でございます。

(委員)

- ・それは保護者向けのアンケートですね。  
(花月教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)
- ・アンケートの対象につきましては、これまでは保護者の方、児童、それと教職員の方にアンケートをしております。またアンケートの結果につきましては、それぞれにお返しをさせていただいております。

(委員)

- ・ちょっとすいません。私ばかり。この前、大池小中一貫校も含めてこの学校案内も送っていただいて、ここの部分も送っていただいて、拝見してはいたんですけども、ユネスコスクールの件についてのお伺いします。ちょっと調べたら5月20日に文科の方の国際統括官付ってということでユネスコスクールの新たな展開についてという風な答申が出てのを見つけました。これを読むと従来の申請のしかたとはかなり変わってきてるなという風に思っています。それについて一応こうずっと、この再編会議のなかで、うちでいうと一丁目一番地のユネスコスクールについてはずっと取り組んで、申請をする。いく方向で考えているっていう話だったんですけども、今回じゃなくて今回の会議の時でもいいんですけど、それについての進捗状況とこの中身を見ますと、学校だけで、背負っていけるようなものでもないなっていう風に思っています。というのはそのユネスコスクールの質の担保という風にかかれてあって、それは例えば学校がまあ教職員の入れ替わりとかいろんなことでその、ユネスコスクールの中身がこう、揺らぐのを防ぐという形のもので非常に厳しいというか、そういうことを言っているのであればそういう事で言うと、今まで御幸森とか中川で地域でいろいろやってきた取り組みもこの前、樋口先生が説明してくれはったパワーポイントの新しい大池小中一貫校の教育の中身についても非常に関わってくる内容であるかと思っています。それについても、その教職員が入れ替わっていく中で学校だけでずっと質の担保っていうのは非常に難しいのではないかと思いますし申請についても、このコロナ禍で先生方だけで担っていくのも、大変なのではないかと思うのでそれについてまた、地域でもいろいろ一緒に、逆に地域はずっと見守って続けていくことで統廃合の一步步み出したのもあるので、そのへんについてのまた見解と方向性について次回でも結構ですので、教えていただきたいと思います。
- ・それからもう一点、放課後、なんでしたっけ。送るの。いきいきから送る。あれについてもそう、予算をつけていただいて子どもたちの安全確保でやっていただいているらしい、らしいってやってるのはわかってるんですけども、地域からもなんか歩いてはってあの人たちいったい何なんだみたいな感じで、どういう契約でどんなふうにか、地域の見守りの中でされているのかっていうその、事業の中身について、それと費用対効果とかだいたいどれくらいの子どもさんが利用してどんな感じでされているのかっていうのもまた次回教えていただきたい。ていうのはその、統廃合に、統廃合の時につけていただいた特別予算の中でそれを組まれていると思うんですけども、限られた予

算枠で言うとそれが、その事業が優先順位的にどうなのかっていうのと、例えば地域に逆にいったら朝なんかは地域でね、無料でみんな立って、ずっと、無料言ったらあれやけど、ボランティアで立っていただき、非常に手厚く中川の方にも立っていただいている分とこのこう、違いというかなんかそういうところとの連携というかね。そこらへんについてもちょっと、わからないのでそのへんも教えていただけたらと思います。私は以上です。

(樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・失礼いたします。教育委員会と生野区役所を兼務しております。樋口と申します。今、委員の方からユネスコスクールの進捗状況、並びに今後の展開を見据えた質の担保どうしていくのかっていうお話ございました。以前にも確認して、さしていただきました通りですね、予定にのっとって進めていく予定でございます。日本のユネスコスクールの担当事務局の方ともやりとりしております、小中一貫校として申請をするということは伝えてるところでございます。開校してから申請してくださいという回答をいただいておりますので、その指示にのっとって、準備を進めていっております。来年はじまりましてすぐ、このチャレンジ期間が、迫ってくる状態にありますので、今年度中にですね。
- ・ユネスコスクールとしてのその実践内容について精査していきたいと考えておりました、現在、学校と協議を開始しておるところです。チャレンジ期間約一年間ありまして、それで報告書を作成して、最短で令和5年の9月申請が最短となってきます。今回、大きく形として変わってきましたのは、申請をした段階でユネスコスクール・キャンディネートという名前がつくんですけども、要は仮免みたいなものです。ユネスコスクールの申請をしてから本部にいったら、そこで最終的に認可されるまで、そこからがまた長いんですね。2～3年とか、3～4年とか言われております。それずっと待ってるっていうのはどうかという話もありましたので、優れた実践であるというふうには、申請として受け入れられた段階で、仮免のようなものが与えられますので、それで実践を重ねていくということでもあります。先ほどこの先生方がいろいろと転勤になり校長先生方も変わられていく中で、この大池小学校区での実践、大池中学校区での実践ですね。ずっと継続できるのかというあたりにつきましてですね、今後の宿題とさせていただきます、また校長先生方や教職員の皆さんと、検討させていただいて、持続可能な実践になるようにまたご相談もさせていただきますながら進めていきたいと考えております。以上でございます。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・よろしいでしょうか。はい。何もないうでございましたら本日の議題につきましては以上です。ありがとうございます。委員から先ほどいただきましたいきいき後の引率につきましては次回で説明の方させていただきます。次回検討会議、10月頃予定して

おりますけども、またコロナの状況によりまして開催の方ちょっと考えたいと思いますので、改めて日程調整の方はさしていただきたいと思います。その際にはまたどうぞよろしくお願いいたします。本日は以上です。どうもありがとうございました。

## 6 主な確認事項

### 【小中一貫校の通称について】

- ・小中一貫校の通称について、議事資料の「大池小中一貫校」、「おおいけ小中一貫校」、「小中一貫校大池学園」、「プラウド大池小中一貫校」と委員から提案された「小中一貫校おおいけの学び舎」の5案で児童・生徒アンケートを実施する。
- ・アンケート結果は、次回の検討会議で報告する。

## 7 会議資料

- ・議事資料 小中一貫校の通称について
- ・報告資料 通学路及び安全対策
- ・追加資料 IKUNO 未来教育ネットワークについて